

2019 年 11 月 13 日

2019 年 10 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は包装紙用途、学参関連の動きがあったが、全体を押し上げるに至らず前年を下回った。

（前年比 93.6%）

巻取は金融関連の動きも弱く大口物件の受注も少なく、大半が小ロット物件であり前年を大幅に下回った。

（前年比 76.4%）

再生紙平判は役所関連で平判対応大口の物件もあり前年を上回った。

再生紙巻取は在庫不足、価格等の問題もあり、再生紙指定除外物件の増加が続き前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 103.7% 再生上質巻取 59.1% 再生上質計 85.6%）

（前年比 印刷用紙 A 89.9%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、カレンダー、DM 等で動きがあったものの印刷物の案件数及び部数の減少によりグロス紙、マット紙とも前年を下回った。

巻取は生損保、自動車、企業カタログ等で動きがあったものの平判同様案件数及び部数の減少によりグロス紙、マット紙とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 87.6% 巻取 71.4% 全体 83.9%）

<A3 コート>

量販店、学習塾、食品スーパー等のチラシで動きがあったものの用紙供給不足からの紙離れの影響もあり平判、巻取とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 88.0% 巻取 74.2% 全体 79.3%）

<ノーカーボン紙>

全体的に生損保関連をはじめ官庁関連の動きも弱く、平判については細い案件は取り込めたものの前年を下回った。

巻取は前月に増税前の前倒しの動きもあり前年を大きく下回った。

（前年比 平判 92.6% 巻取 84.3%）

<上質フォーム>

金融関連、官庁関連の動きも弱く、新規案件等の取り込みも見られず前年を下回った。

（前年比 97.5%）

<包装用紙>

自然災害による観光地等での消費低迷の影響と9月の消費増税前の駆け込み需要の揺り戻しにより各種包装紙、手提げ袋の需要減が影響した為、特殊両更（前年比 71.7%）、軽包装（前年比 96.5%）、片艶晒（前年比 83.2%）、両更晒（前年比 86.1%）、純白ロール（前年比 71.0%）と各品種軒並み昨年を下回った。

一部その他包装紙（前年比 133.3%）で動きがあり昨年を大きく上回ったが、全体を押し上げるには至らず包装紙合計で 91.0%と昨年を下回った。

<板紙>

お歳暮等の贈答品はここ数年減少傾向が続いているが、年末商戦に向けてのクリスマス商品やバレンタイン等は堅調に推移している。しかし、特板は POP 等が低調で全体的には前年並みであった。

（前年比 98.1%）